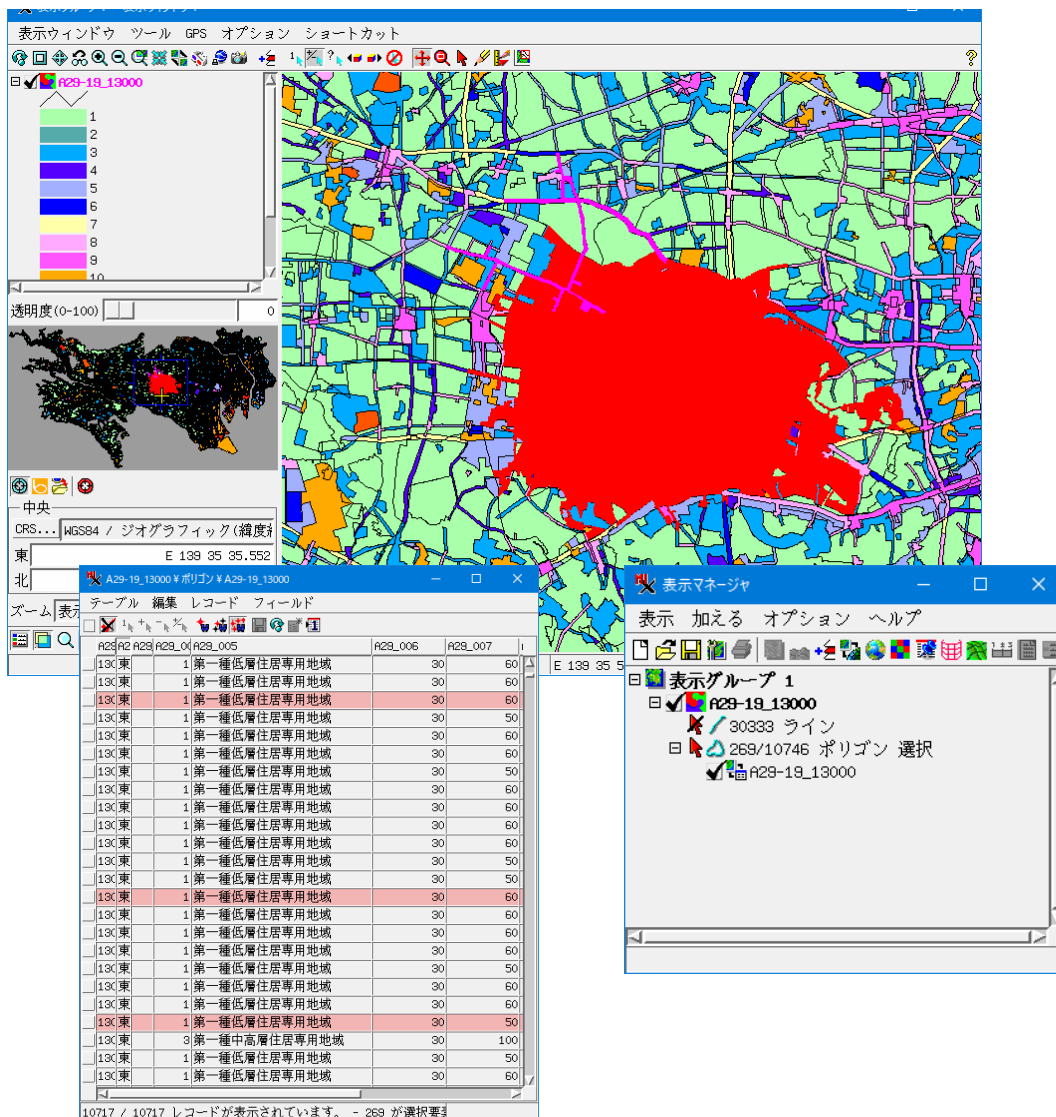


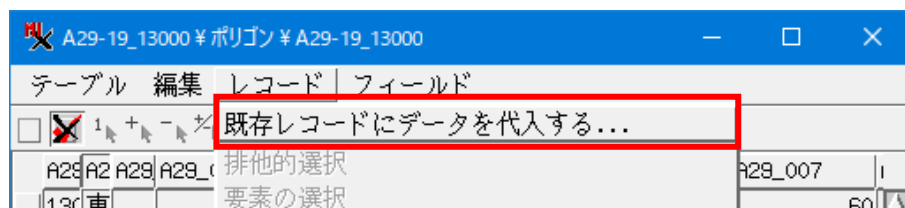
テーブルの複数の要素に同じ値を代入する操作

テーブルアタッチが要素に対して1対1の場合が前提です。

複数のポリゴンが選択されています。



テーブルで要素が選択された状態で [レコード]>[既存レコードにデータを代入する]



変更するフィールドで条件を「全て上書き」

フィールド名	タイプ	条件	手法	値
A29_001	テキスト	何もしない		
A29_002	テキスト	何もしない		
A29_003	テキスト	何もしない		
A29_004	整数	何もしない		
A29_005	テキスト	何もしない	何もしない	
A29_006	整数	何もしない	全て上書き	
A29_007	整数	何もしない	ヌルならば	
A29_008	テキスト	何もしない	ゼロならば	

適用

すべてのレコード (10717)

複数選択された要素にアタッチされたレコード (269)

アクティブ要素にアタッチされたレコード (1)

OK キャンセル ヘルプ

フィールド名	タイプ	条件	手法	値
A29_001	テキスト	何もしない		
A29_002	テキスト	何もしない		
A29_003	テキスト	何もしない		
A29_004	整数	全て上書き	[指定してください]	
A29_005	テキスト	何もしない	固定値	
A29_006	整数	何もしない	フィールド	
A29_007	整数	何もしない		
A29_008	テキスト	何もしない		

適用

すべてのレコード (10717)

複数選択された要素にアタッチされたレコード (269)

アクティブ要素にアタッチされたレコード (1)

OK キャンセル ヘルプ

変更値を入力します。

ド名	タイプ	条件	手法	値
	テキスト	何もしない		
	テキスト	何もしない		
	テキスト	何もしない		
	整数	全て上書き	固定値	3
	テキスト	何もしない		
	整数	何もしない		
	整数	何もしない		
	テキスト	何もしない		

適用

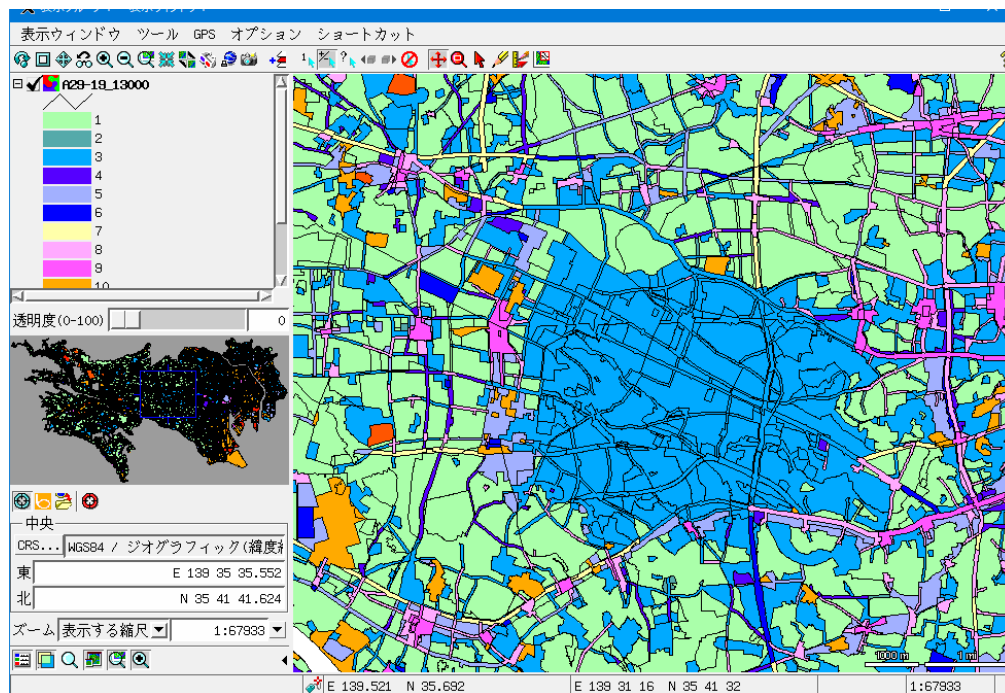
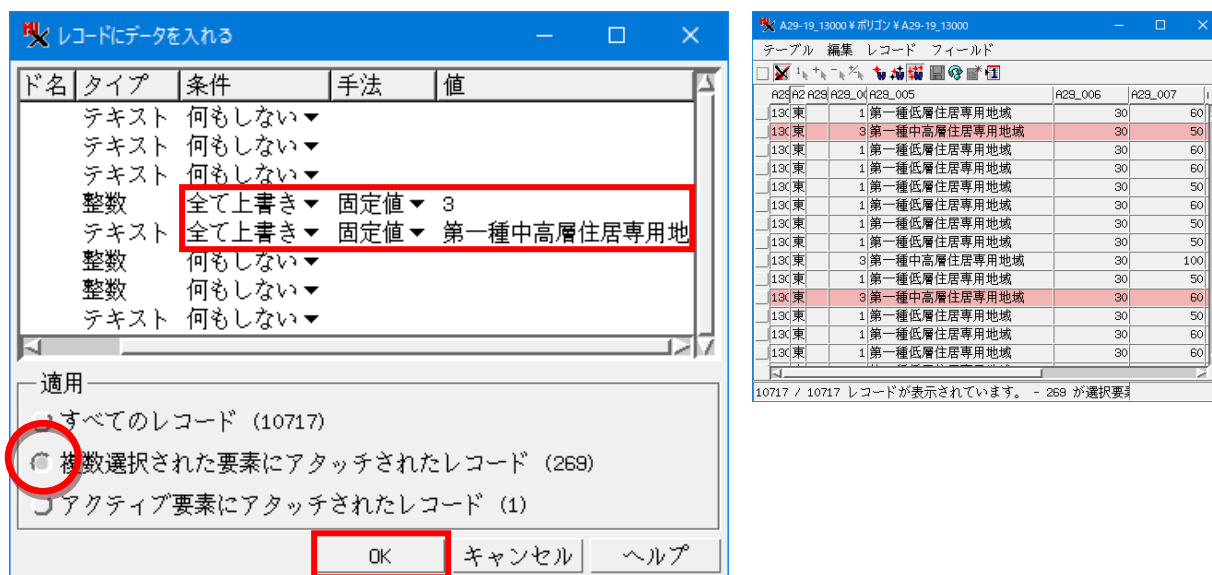
すべてのレコード (10717)

複数選択された要素にアタッチされたレコード (269)

アクティブ要素にアタッチされたレコード (1)

OK キャンセル ヘルプ

上書きする値を入力し終わったら[OK]。 選択範囲のポイントの属性値が変わりました。



【参考】

選択したポイントに固定値を代入する方法【基本操作】

https://www.opengis.co.jp/htm/basic/populate_selected.pdf

既存レコードにデータを代入する方法【基本操作】

https://www.opengis.co.jp/htm/basic/populate_kihon.pdf

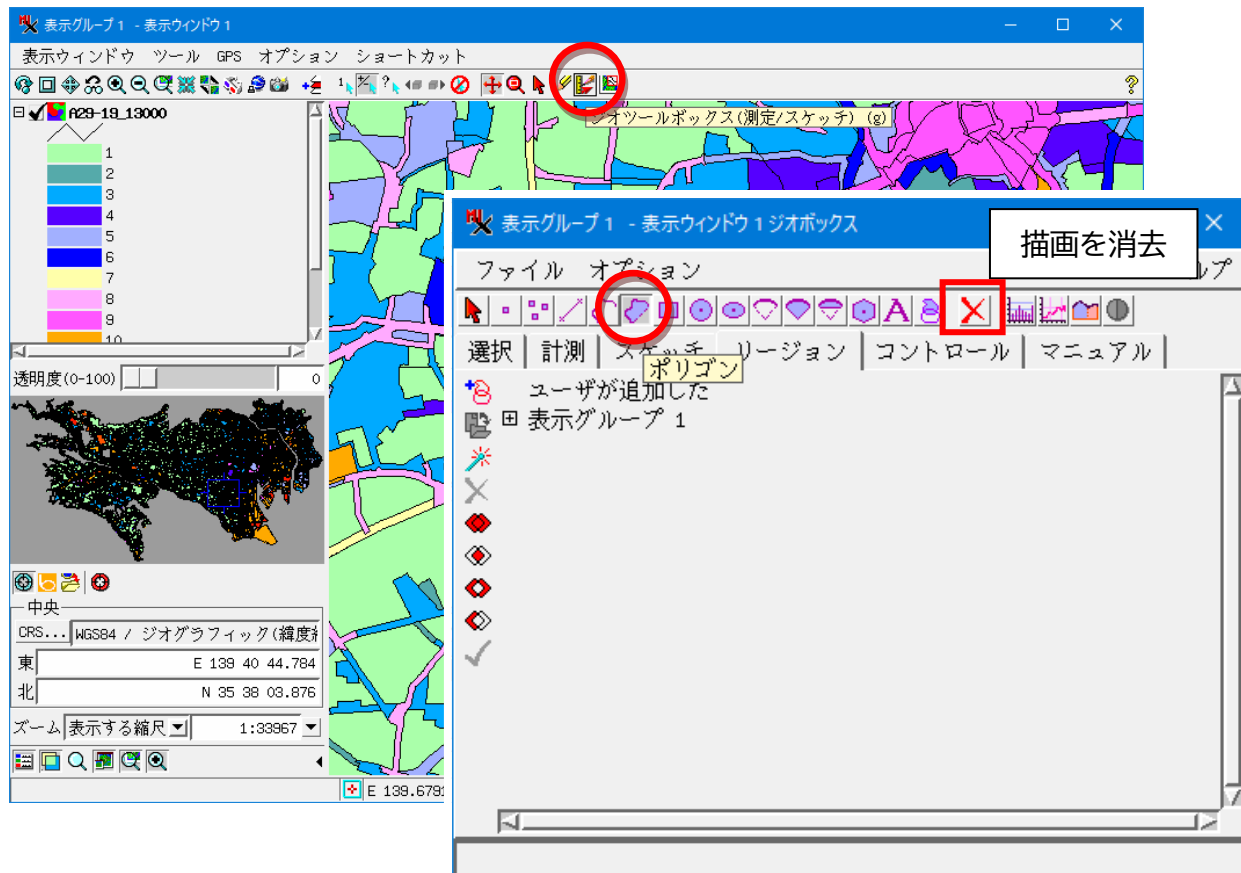
データベースレコードに値を代入する【テクニカルガイド】

https://www.opengis.co.jp/techguidej/81DBpopulateRecords_201701_J.pdf

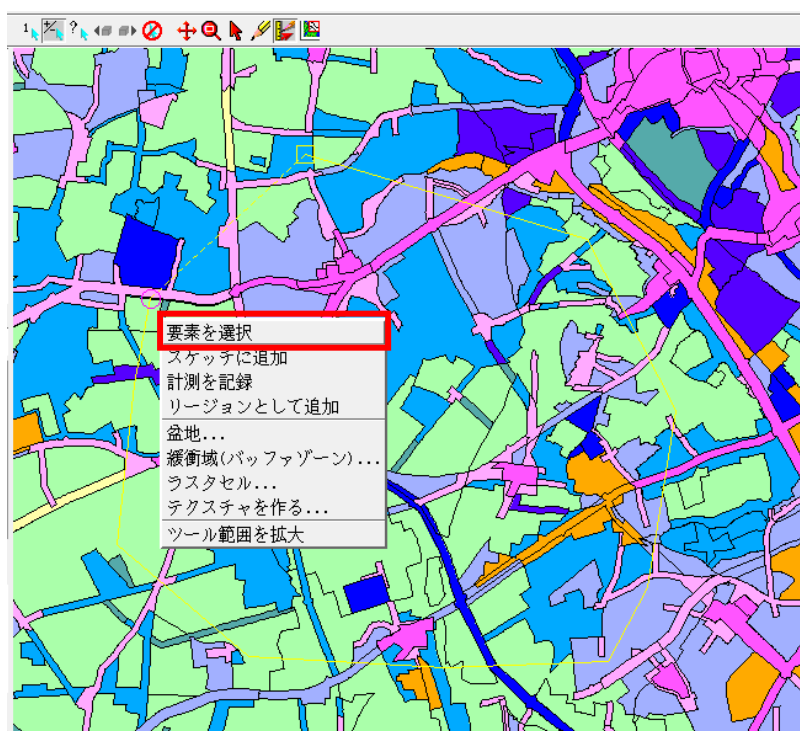
ジオツールボックスのリージョンによる要素の選択

ポイントやポリゴンをリージョンの範囲で指定する方法です。

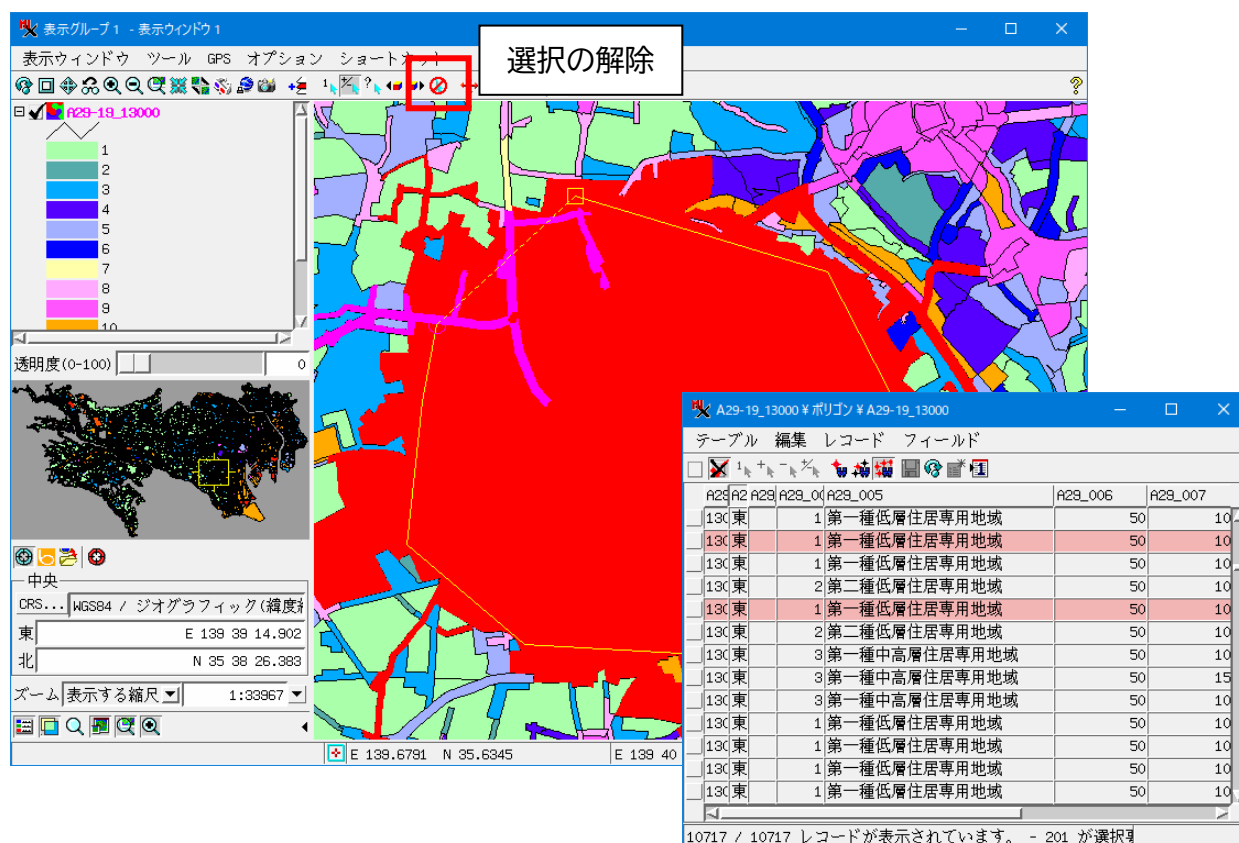
ジオツールボックスを起動しリージョンツールで選択範囲を描きます。



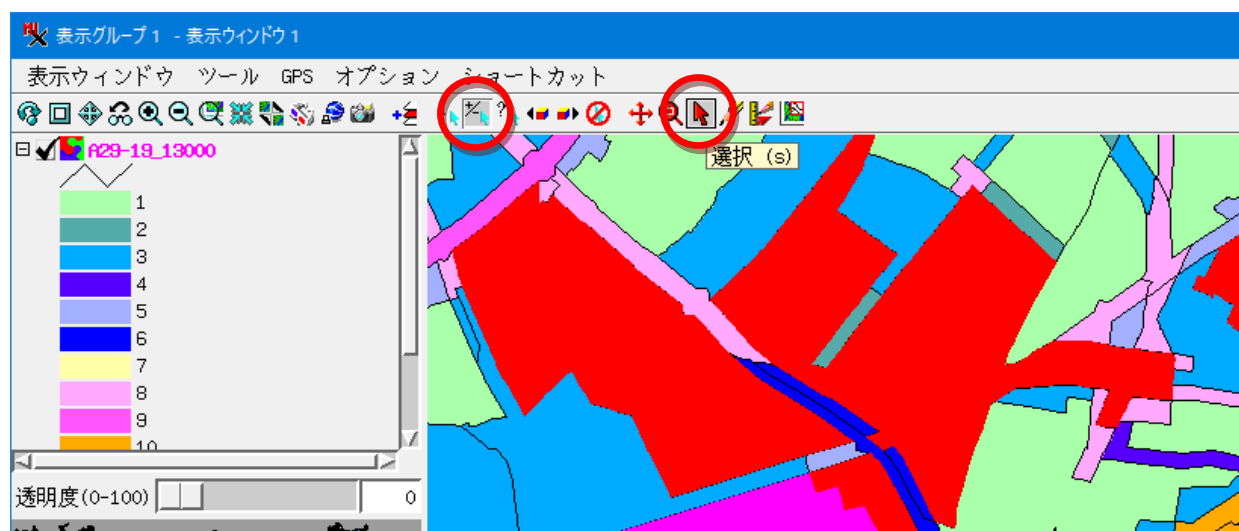
範囲が確定したら右クリックメニューで「要素を選択」



範囲内の要素が選択されます。図ではポリゴンですが、ポイントでも同様です。



マニュアルで一つ一つ要素を選択する場合



上記ボタンがオンの状態で要素をクリックすると複数要素の選択ができます。

データ出典： 国土数値情報 用途地域データ

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A29-v2_1.html